



## 2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年8月11日

上場会社名 富士石油株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 5017 URL http://www.foc.co.jp/  
 代表者 (役職名)取締役社長 (氏名)柴生田 敦夫  
 問合せ先責任者 (役職名)総務部部长 (氏名)祖父江 高明 (TEL)03(5462)7803  
 四半期報告書提出予定日 2020年8月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	75,951	△11.0	3,498	—	3,283	—	2,631	—
2020年3月期第1四半期	85,329	△38.1	△3,708	—	△4,217	—	△4,478	—

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 2,569百万円(—%) 2020年3月期第1四半期 △4,537百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	34 15	—
2020年3月期第1四半期	△58 12	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	220,728	43,865	19.8
2020年3月期	245,504	41,297	16.8

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 43,715百万円 2020年3月期 41,153百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0 00	—	0 00	0 00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

現時点では、2021年3月期の期末配当は未定とします。

## 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	158,900	△25.0	2,800	—	3,800	—	3,500	—	45.42
通期	336,700	△27.2	4,800	—	6,100	—	4,900	—	63.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期1Q	78,183,677株	2020年3月期	78,183,677株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	1,121,198株	2020年3月期	1,121,198株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期1Q	77,062,479株	2020年3月期1Q	77,062,489株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(追加情報)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるドバイ原油価格は、期初1バレルあたり21ドル台で始まりましたが、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大に伴う経済活動の停滞やWTI原油が史上初のマイナス価格になったこと等により、4月下旬には13ドル台まで下落しました。その後は、OPECプラスによる協調減産合意や経済活動の再開等に伴う石油需給の引き締めへの期待等により、6月下旬には43ドル台まで上昇し、当四半期を終えました。この結果、期中平均は約31ドルとなりました。

一方、期初1ドル107円台半ばで始まった外国為替相場は、一時的に米ドル需要が喚起されて109円台まで円安となる局面があったものの、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大や米中対立による世界経済への影響が懸念されて長続きせず、概ね107円前後で推移し、期末は107円台後半で終了しました。この結果、期中平均は107円台半ばとなりました。

このような事業環境のもと、袖ヶ浦製油所での原油処理量は、前期の小規模定期修理の影響解消等により、前年同期に比して251千キロリットル増の1,610千キロリットル、当社の石油製品及び石油化学製品等の販売数量は、385千キロリットル増の1,678千キロリットルとなりました。

こうした状況のもと、当第1四半期連結累計期間の業績は以下のとおりとなりました。

売上高は、前期の小規模定期修理の影響解消により製品販売数量は増加したものの、2020年3月以降の原油価格急落を受けて販売価格が下落したことにより前年同期比93億円減収の759億円となりました。損益につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大による需要減退を受け製品マージンが悪化した一方、在庫影響（総平均法および簿価切下げによるたな卸資産の評価が売上原価に与える影響）が25億円の原価押し下げ要因（前年同期は19億円の原価押し上げ要因）となったことに加え、定修影響の解消等により営業利益34億円（前年同期比72億円増益）となりました。経常利益は32億円（前年同期比75億円増益）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は26億円（前年同期比71億円増益）となりました。

なお、当第1四半期連結累計期間の在庫影響を除いた実質ベースの損益は、営業利益相当額は9億円（前年同期比27億円増益）、経常利益相当額は7億円（前年同期比30億円増益）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (流動資産)

流動資産は、前連結会計年度末と比べ237億円減少の1,016億円となりました。主な要因は、たな卸資産の減少156億円、受取手形及び売掛金の減少58億円であります。

#### (固定資産)

固定資産は、前連結会計年度末と比べ10億円減少の1,190億円となりました。主な要因は、機械装置及び運搬具の減少10億円であります。

#### (流動負債)

流動負債は、前連結会計年度末と比べ264億円減少の1,253億円となりました。主な要因は、短期借入金の減少121億円、買掛金の減少69億円、未払金の減少43億円であります。

#### (固定負債)

固定負債は、前連結会計年度末と比べ8億円減少の515億円となりました。主な要因は、長期借入金の減少17億円、修繕引当金の増加6億円であります。

#### (純資産)

純資産は、前連結会計年度末と比べ25億円増加の438億円となりました。主な要因は、利益剰余金の増加75億円、資本剰余金の減少49億円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、2020年5月7日付「2020年3月期決算短信」において未定としておりましたが、当社グループの業績の前提となる原油価格、為替相場について一定の想定を行うことが可能な状況となったことから、現時点において入手可能な情報をもとに算定いたしました。

今回の見通しの前提として、2020年7月から2021年3月のドバイ原油価格を40ドル/バレル、為替レートを110円/ドルといたしました。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響につきましては、経済活動縮小による製品需要の減少等が上期において継続し、下期には回復基調を見込むものの、通期の原油処理量および製品販売数量は小規模定期修理を実施した前期とほぼ同程度となるものと想定しております。

売上高は、原油価格の前期比での下落に伴い、第2四半期連結累計期間につきましては前年同期比529億円減収の1,589億円、通期につきましては同1,256億円減収の3,367億円となる見通しです。

業績につきましては、上記新型コロナウイルス感染症拡大の影響はあるものの、年明けより下落を続けていた原油価格が5月以降上昇基調で推移した後7月以降40ドル/バレルという前提のもとで、在庫影響の原価押し下げ効果及び製品マージンの回復等を見込んでおり、第2四半期連結累計期間につきましては営業利益28億円（前年同期比85億円増益）、経常利益38億円（同101億円増益）、親会社株主に帰属する四半期純利益35億円（同92億円増益）、通期につきましては営業利益48億円（同334億円増益）、経常利益61億円（同348億円増益）、親会社株主に帰属する当期純利益49億円（同339億円増益）となる見通しです。

なお、在庫影響を除いた実質ベースの損益は、第2四半期連結累計期間につきましては営業損失相当額で12億円（前年同期比33億円改善）、経常損失相当額で2億円（同49億円改善）、通期につきましては営業利益相当額で31億円（同114億円増益）、経常利益相当額で44億円（同128億円増益）となる見通しです。

実際の業績は、様々な要因により予想数値とは異なる結果となる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	12,769	10,483
受取手形及び売掛金	40,302	34,477
有価証券	-	100
たな卸資産	68,346	52,720
未収入金	1,212	1,226
その他	2,753	2,619
流動資産合計	125,384	101,628
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	13,791	13,664
油槽(純額)	3,468	3,368
機械装置及び運搬具(純額)	31,401	30,333
土地	51,668	51,668
建設仮勘定	847	952
その他(純額)	613	585
有形固定資産合計	101,791	100,572
無形固定資産		
ソフトウェア	616	649
その他	132	132
無形固定資産合計	749	782
投資その他の資産		
投資有価証券	16,490	16,731
長期貸付金	756	756
退職給付に係る資産	12	1
その他	729	663
貸倒引当金	△410	△409
投資その他の資産合計	17,579	17,744
固定資産合計	120,119	119,099
資産合計	245,504	220,728

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	13,686	6,754
短期借入金	83,953	71,830
1年内返済予定の長期借入金	9,463	9,438
未払金	18,149	13,802
未払揮発油税	18,939	19,639
未払法人税等	90	626
その他	7,510	3,208
流動負債合計	151,795	125,300
固定負債		
長期借入金	33,622	31,856
繰延税金負債	9,002	9,117
特別修繕引当金	2,342	2,394
修繕引当金	4,578	5,265
退職給付に係る負債	2,397	2,406
役員退職慰労引当金	11	12
その他	457	510
固定負債合計	52,412	51,562
負債合計	204,207	176,862
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	24,467	24,467
資本剰余金	30,396	25,495
利益剰余金	△9,886	△2,353
自己株式	△1,431	△1,431
株主資本合計	43,546	46,177
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8	51
土地再評価差額金	1	1
為替換算調整勘定	△2,103	△2,224
退職給付に係る調整累計額	△299	△289
その他の包括利益累計額合計	△2,393	△2,461
非支配株主持分	144	149
純資産合計	41,297	43,865
負債純資産合計	245,504	220,728

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
売上高	85,329	75,951
売上原価	88,007	71,349
売上総利益又は売上総損失(△)	△2,678	4,601
販売費及び一般管理費	1,029	1,103
営業利益又は営業損失(△)	△3,708	3,498
営業外収益		
受取利息	21	18
受取配当金	42	48
為替差益	247	-
持分法による投資利益	227	296
タンク賃貸料	52	52
その他	0	-
営業外収益合計	592	415
営業外費用		
支払利息	683	421
為替差損	-	7
タンク賃借料	58	53
その他	361	148
営業外費用合計	1,102	631
経常利益又は経常損失(△)	△4,217	3,283
特別利益		
固定資産売却益	4	-
特別利益合計	4	-
特別損失		
固定資産除却損	58	4
特別損失合計	58	4
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△4,271	3,278
法人税、住民税及び事業税	0	522
法人税等調整額	199	117
法人税等合計	199	639
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△4,471	2,638
非支配株主に帰属する四半期純利益	6	7
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△4,478	2,631



## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△4,471	2,638
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△65	43
為替換算調整勘定	△0	△25
退職給付に係る調整額	△0	9
持分法適用会社に対する持分相当額	0	△95
その他の包括利益合計	△65	△68
四半期包括利益	△4,537	2,569
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△4,544	2,562
非支配株主に係る四半期包括利益	6	7

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは石油精製/販売事業のみの単一のセグメントであるため、記載を省略しております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大の影響について)

新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大を背景とする需要減少の影響を受け、2021年3月期にわたって機械装置の稼働率が低下するとの仮定に基づき、固定資産の減損認識の要否の判定や繰延税金資産の回収可能性の判断等の会計上の見積りを行っています。